

好きです！奄美農業

編集・発行 大島支庁農林水産部農政普及課

経営普及係・技術普及係 奄美市名瀬永田町17-3 (0997)57-7274

瀬戸内町駐在 瀬戸内町古仁屋船津36 (0997)72-0184

喜界町駐在 喜界町赤連2901-14 (0997)65-3019

<http://www.pref.kagoshima.jp/aa02/chiiki/oshima/sangyo/nougyou/index.html>

大島地区青年農業者会議を開催

大島地区農業青年農業者会議（大島地区農業青年クラブ連絡協議会主催）が、11月15日に奄美市市民交流センターで開催され、農業青年クラブ員、新規就農者、指導農業士、関係機関など約40名が参加しました。

他のクラブ員や指導農業士から多くの助言と質疑があり、活発な意見交換が行われました。

8月に開催した「奄美群島青年農業者交流会」から新たなクラブ活動の展開につなげる提案などがあり、青年農業者の今後ますますの活躍が期待される会議となりました。

○意見発表

「新規就農からこれまでとこれから」

元井雄太郎氏(奄美市)

経営の現状と地域農業の活性化に向けた夢などを語りました。

○プロジェクト発表

「カボチャ主体の経営に向けた施肥改善の取組」

生駒雄一氏（喜界町）

堆肥施用の有無が収穫量に及ぼす影響や緩効性肥料による省力化などのデータを示しながら、その成果と今後の目標を発表しました。



意見発表(元井さん)



プロジェクト発表(生駒さん)



参加した農業青年クラブ員

奄美大島・喜界島農業の動き

奄美大島・喜界島の農業の直近の出来事を県ホームページ上に以下のとおり紹介しています。右のQRコードより検索ください。

詳細を知りたい方は、大島支庁農政普及課までお問い合わせください。



令和4年12月

- 収穫期を前に農作業安全について学ぶ
- さとうきびの原料搬入が始まる
- 農福連携の地域的な支援方策について検討
- 生産振興大会でさとうきびの見える化について提言
- 「奄美つのがやき」鹿児島市内で本格デビュー！

令和4年11月

- 若手農業者等がさとうきび栽培を学ぶ
- 野菜部門の新規就農者等を指導農業士が現地で助言指導
- 農業青年が農業の夢とロマンを語る
- 農業青年が新たな活動を企画
- 農業担い手が経営改善や土づくりについて学ぶ
- 将来の女性リーダー育成を目指した組織が誕生

令和4年10月

- 喜界町の新規就農者が家族経営協定を締結
- 来期作の増収に向けたパッションフルーツ産地育成検討会を開催
- 次世代へ樹園地の円滑な継承を目指した検討会を開催
- 女性農業者がデザインをとおして思いを伝える手法を学ぶ

令和4年9月

- かんきつのオンライン交流セミナーで一層の技術向上を！
- マンゴー新技術研修会で理解を深める！

令和4年8月

- 今年のマンゴー品評会も、ハイレベルな出品物で鮮やかな彩り！
- 瀬戸内町のストグレたんかん塾開講
- 4年ぶり奄美群島青年農業者交流会を開催！
- ピレットプランターでの植付受託が始まる！



令和4年11月 農業青年クラブ食品加工研修



令和4年11月 女性組織の設立



令和4年8月 マンゴー品評会

キバローディ！あまみ農業担い手セミナー

11月15日に奄美大島・喜界島の農業担い手を対象としたセミナーを奄美市市民交流センターで開催しました。当日は、農業開発総合センターの2名の講師による講演がありました。

第1講演では、「**明日の経営改善は、今日の小さな一歩から**」として県内外の経営が発展した事例の秘訣が紹介されました。



スライドで経営発展の秘訣を紹介

第2講演では、「**肥料価格高騰下での土壌管理**」として、作物の安定多収をもたらす土づくりの方法について説明されました。

農業者96名など、約150名が参加し、これからの経営に役立つヒントを得ようと、講演に聞き入っていました。

ハカマロール生産・利用調査を開始！

令和4年12月から、県肉用牛振興協議会及び奄美群島糖業振興会は、**さとうきびのハカマを牛の粗飼料として活用する、「ハカマロール生産・利用調査」**を奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島の各島で開始します。調査協力農家は、複合経営を含む8戸。



本調査では、以下の2点の効果を期待して実施されます。

- ①ハカマは冬場の粗飼料が足りない時期に、**粗飼料の一部として活用**できるか。
- ②さとうきびの収穫後のほ場で散在するハカマを肉用牛農家が所有する機械を利用してほ場外へ持ち出すことで、株元からのハカマ除去作業が省略でき、管理作業が速やかに開始できるため、**さとうきびの生育改善と増収**につながるか。

調査の結果、ハカマが粗飼料の一部として活用でき、さとうきびの生育改善と増収にもつながれば、**さとうきび農家と肉用牛農家、双方の経営安定に寄与**できます。

樹園地の円滑な継承を目指した検討会を開催

大島地区指導農業士会及び大島支庁農政普及課による「樹園地の継承システム化検討会」が、10月25日に奄美市役所で開催され、生産者のほか、市町村、農業委員などの出席のもと、後継者不在の樹園地を新規就農者等へ円滑にマッチングすることを目指して、情報共有のあり方等について検討がなされました。

参加者からは、「地域の柑橘の生産力を維持していくためには、市町村の枠を超えた関係機関と生産者団体による情報共有が必要」などの意見が出されました。

大島支庁では、今回の検討を踏まえ、情報の一元化や情報提供の方法などを支援していきます。



検討会の様子

龍郷町の中村孝代さんが農山漁村女性活動功労者を受賞

鹿児島県が主催する令和4年度農山漁村女性活動功労者表彰において、龍郷町の中村孝代さんが受賞され、11月16日にかごしま県民交流センターで表彰式が行われました。

中村さんは、「株式会社あいかな」の代表取締役として、シマの伝統食材や製法を活かした加工品の販売や、自社農園で栽培するフルーツの新商品開発に取り組むなど、女性起業者の模範となる活動が評価されました。



表彰を受ける中村孝代さん

土層改良事業に取り組んでみませんか

県では、奄美市笠利町の土地改良事業の受益地で土層改良事業を実施中です。事業では作物の根の伸長促進等につながる心土破碎や、土壌診断結果に基づく有機資材の散布、土壌改良資材の施用により畑の状態改善を図ります。事業に参加し単収アップにつなげませんか。

心土破碎



有機資材の散布



事業完了後も、ほ場管理や土づくりに取り組み、単収アップ!!

問い合わせ先

大島支庁農林水産部農村整備課

☎0997-57-7307

奄美市笠利総合支所農林水産課

☎0997-63-1111